

レベル	項目	研修名	学習内容	講師
レベル共通	伝達研修	外部研修報告会	・研修での学びをプレゼンテーションし、学びを共有をする。 ・キャリア発達の機会とする	
	看護研究	看護研究①	・看護研究の意義と方法の基礎 ・臨床看護研究の意義 ・看護研究の種類と方法 ・看護研究における倫理 ・看護研究のまとめ方	田辺有理子先生 （横浜市立大学）
	看護研究	看護研究②	・研究計画書の意義 ・文献検索の意義と方法	田辺有理子先生 （横浜市立大学）
	看護研究	看護研究③	・個別コンサルテーション	田辺有理子先生 （横浜市立大学）
	看護研究	看護研究④	・個別コンサルテーション	田辺有理子先生 （横浜市立大学）
	看護研究	看護研究⑤ 看護研究のための プレゼンテーション	・看護研究発表に必要なプレゼンテーションの基礎知識 ・相手に理解してもらうための話し方、資料作成のコツ	早瀬和彦（CEPN）
	看護研究	看護研究⑥ 予演会	・発表に対する準備、予行演習	クリニカルリーダー管理 運営委員会
	看護研究	看護研究発表会		
	看護理論	セルフケア理論の理解	・理論の成り立ちと概要、必要性 ・自己決定の概念と普遍的セルフケア要件 ・セルフケアレベルの意味と看護	小林信先生 （東京医科大学）
	トピックス 研修	こころの日記念講演		
	トピックス 研修	災害看護	・曾我病院における災害時の対応	大黒昌恵(CEPN)
	対象理解	こころの理解	・フロイトの概念(心的装置、心的機能) ・口唇期/肛門期/男根期とコンプレックス	小林信先生 （東京医科大学）
	対象理解	防衛機制	・防衛機制的種類 ・転移、逆転移 他	小林信先生 （東京医科大学）
	精神科に 必要な知識	摂食・嚥下	・嚥下に関するメカニズムと嚥下障害の概念と疾患 ・嚥下リハビリテーションの実際と看護	船橋庄司先生 (にじの丘 言語聴覚士)
	精神科に 必要な知識	BLSと急変対応 2年目必須	・疾患による観察のポイント、急変時への対応(BLS) ・包括的なアセスメントと診断	鈴木好先生 他 （小田原市立病院）
	精神科に 必要な知識	精神科身体合併症 看護	・精神症状と身体症状の相関関係 ・医療者の陥る側面と具体的な早期発見方法と予防の必要性	相原法子（CEPN）
	精神科に 必要な知識	統合失調症患者のケア	・統合失調症に対する診断および治療、動向、国の施策 ・統合失調症に対する基本的看護	伊藤瑞穂医師 早瀬和彦(CEPN)
	精神科に 必要な知識	認知症患者のケア	・認知症に対する診断および治療、動向、国の施策 ・各認知症の症状と基本的看護 ・カンフオーダブル・ケア	早川典義医師 矢田弓子(CEPN)
	精神科に 必要な知識	気分障がい患者のケア	・気分障害に対する診断および治療、動向、国の施策 ・気分障害に対する基本的看護 ・認知行動療法の視点からのかかわり方 ・自殺について	山口隆之医師 磯谷朋樹(CEPN)
	精神科に 必要な知識	フィジカルアセスメント （循環・中枢神経）	・4つの領域(呼吸・消化器)(循環・中枢神経)に関する知識を習得する ・客観的な根拠のある身体情報を正確に得る方法を学ぶ ・患者の訴えや呈している症状をアセスメントし、状況を判断できる	鈴木好先生 他 （小田原市立病院）
レベルⅠ	看護技術	精神科における急変対応	・精神科で起こりやすい事故の対応(自殺、転倒、暴力など) ・ドクターコール(日勤、夜勤)の連絡方法	看護主任
	看護技術	見取り期のケア	・死を迎えた患者家族への接し方、尊ぶところ ・OJTによるエンゼルケアの流れと手技と霊安室の使用方法	教育担当責任者 WEB
	精神科に 必要な知識	行動制限最小化看護	・行動制限最小化の法的理解と人権擁護 ・行動制限を最小化する必要性と看護の役割	大黒昌恵(CEPN)
	精神科に 必要な知識	精神保健福祉法	・精神保健福祉法の理解と行動制限の基本	大黒昌恵(CEPN)
	看護倫理	看護倫理	・基本的人権と精神医療の歴史から患者の人権を守ることと 精神科病院における倫理問題 ・精神科病院における看護師の役割(人権擁護の観点)	看護科長
	チーム医療	チーム医療	・チーム医療とは(チーム医療の実際) ・職場内における同僚および多職種との協働の必要性	看護科長
	看護記録 看護計画	看護記録 看護計画	・フォーカスチャージングとは ・看護記録及び看護計画の立案、評価の入力方法	看護主任
	看護過程 (R5のみ2年目必須)	セルフケア理論における 看護過程の展開①②	・セルフケア理論に沿って看護過程の展開 ・事例を用いた模擬展開	大黒昌恵(CEPN)
	リーダー研修	リーダーシップ 基礎	・リーダーとは(概念、役割、組織の理解) ・初心者看護師に求められるリーダーシップと看護業務において リーダーが果たすべきこと	早瀬和彦（看護部長）
	地域での 看護	精神科外来看護	精神医療の動向にあわせた外来看護の役割(院内外連携を含む) 地域で生活している当事者の支援と外来看護師に期待される役割 外来を見学し、通院する患者を知ることができる	高橋楓（外来看護師）

レベル	項 目	研 修 名	学 習 内 容	講 師
レベルⅡ	精神科に必要な知識	必要な制度と社会資源	・精神障がい者および認知症患者における制度と社会資源 ・PSWの業務、効果的な医師・看護師との連携 ・事例から看護の関わりを考える	渡邊紗可 (精神保健福祉士)
	精神科に必要な知識	行動制限最小化看護	・医療チームの中で行動制限最小化のためのアセスメントを学ぶ ・行動制限を受ける患者の思いを理解し、安全な拘束を学ぶ	大黒昌恵(CEPN)
	精神科に必要な知識	精神障がい者の家族理解と対応	・精神障がい者の家族の背景、心理の理解、特性 ・家族によるセルフヘルプグループ(家族会)の重要性	馬場彩世 (臨床心理士) (家族会スタッフ)
	精神科に必要な知識	地域移行支援	・地域移行支援の必要性和地域定着支援の方法 ・多職種連携と地域連携: 具体的支援の流れと看護の役割 ・当院での活動	早瀬和彦(CEPN)
	精神科治療	薬物療法	・抗精神病薬の歴史、作用機序 ・非定型抗精神病薬・抗うつ薬・気分安定薬・抗不安薬・睡眠薬・抗認知症薬の作用と副作用	宮地かほり (医師)
	精神科治療	薬物療法と看護	・薬物療法を受ける患者の看護 ・薬物療法を拒否する患者の対応を学ぶ	磯谷朋樹(CEPN)
	精神科治療	精神療法	・精神療法の概念と特徴、対象となる疾患 ・精神療法の分類、治療効果、治療目標	山口隆之 (医師)
	精神科治療	作業療法	・作業療法士の役割と精神科リハビリテーションの概念と意義 ・患者の自立と意欲の引き出し方法	沼田珠希 (作業療法士)
	精神科治療	心理検査	・臨床心理士の役割と心理検査の手順、種類 ・心理検査の実際から検査を受ける患者の思いを知る ・検査の有効性と検査が与える診断への効果	米倉亜紀子 (臨床心理士)
	精神科治療	集団精神療法	・集団精神療法の概念と特徴、対象となる疾患 ・集団精神療法の治療効果、治療目標 ・集団精神療法を体験し患者の思いを知る	馬場彩世 (臨床心理士)
	看護倫理	看護倫理	・精神科医療で生じやすい倫理的問題(スタッフの側面) ・具体的に解決する手法	看護科長
	チーム医療	チーム医療	・精神科医療におけるIPWの必要性 ・看護チームにおけるリーダーの役割とリーダーシップ、 チーム医療における看護の役割	看護科長
レベルⅡ・Ⅲ	事例検討	セルフケア理論 (事例に沿った理論理解)	・理論を軸にした事例レポート作成・問題/課題の理由と 患者理解の検討	看護主任
	事例検討	事例検討①～⑤	・事例検討	看護主任
レベルⅢ	看護管理	看護管理	・質の高い看護サービスを効果的、効率的に提供するために必要なマネジメント ・マネジメントを実施するために必要な側面(人材、経営、リスクなど)、医療チームにおける人間関係	早瀬和彦 (看護部長)
	チーム医療	チーム医療	・チーム医療における看護の専門性、チーム医療の倫理 ・チーム医療の要素と困難	看護科長
レベルⅡ・Ⅲ・Ⅳ	自己理解	プロセスレコードとは	・プロセスレコードの意義 ・プロセスレコードを記載、検討するときのルール ・検討の方法の提示	大黒昌恵(CEPN)
	自己理解	プロセスレコード検討 ①～⑤	・自己のプロセスレコードによる検討 ・自己が陥りやすい傾向の理解	精神科認定看護師(CEPN) ジェネラリスト
レベルⅢ・Ⅳ	看護倫理	看護倫理(事例検討) ①～⑤	・所属する部署に起こり得る倫理的問題を指摘し、主体的に問題に 対する対処を提案できる	精神科認定看護師(CEPN) ジェネラリスト
認定 看護師	ブラッシュアップ研修	ブラッシュアップ研修	・認定看護師としての看護の質を維持する	ブラッシュアップ研修
看護科長 (M3) 看護主任 (M2) 看護副主任 (M1)	看護管理	看護管理	・管理職者に求めるマネジメント、病院組織、看護部組織から求められる 管理者としての姿勢 ・所属病棟の機能、特徴と病棟目標の整合性 ・管理者として果たすべく人材育成	早瀬和彦 (看護部長)